

九州地方整備局における取組 ～「見える化」に向けて～

九州地方整備局 都市整備課

i-都市交流会議2020

1

1. 執務室に設置したモニターにてP R

- ・都市構造可視化の概要、人口分布の経年変化（糸島市）、販売額分布の経年変化（直方市）、公共交通利用圏と人口分布の関係（糸島市・飯塚市）など、字幕等入れながら、可視化の内容が解る約4分の動画を作成し、執務室に設置したモニターでP R表示しました。
- ・工夫した点としては、執務時間中、動画を繰り返し表示し、来訪者がいつでも目にとまるようにしました。
- ・都市構造可視化計画のロゴをモニターの下部に表示して、P Rしています。
- ・作成した動画は、自治体の都市計画担当者会議において、可視化P R用として提供しました。

i-都市交流会議2020

2

1. 執務室に設置したモニターにてP R

◎モニター設置状況



i-都市交流会議2020

3

2. 都市再生整備計画事業新規地区ヒアリング時の活用

都市再生整備計画事業においては、次年度から都市再生整備計画事業を実施しようとする地方公共団体について、新規の都市再生整備計画を策定するにあたり、例年8月頃に地整にてヒアリングを実施し、9月頃本省へ概要説明を行うのが通例となっている。

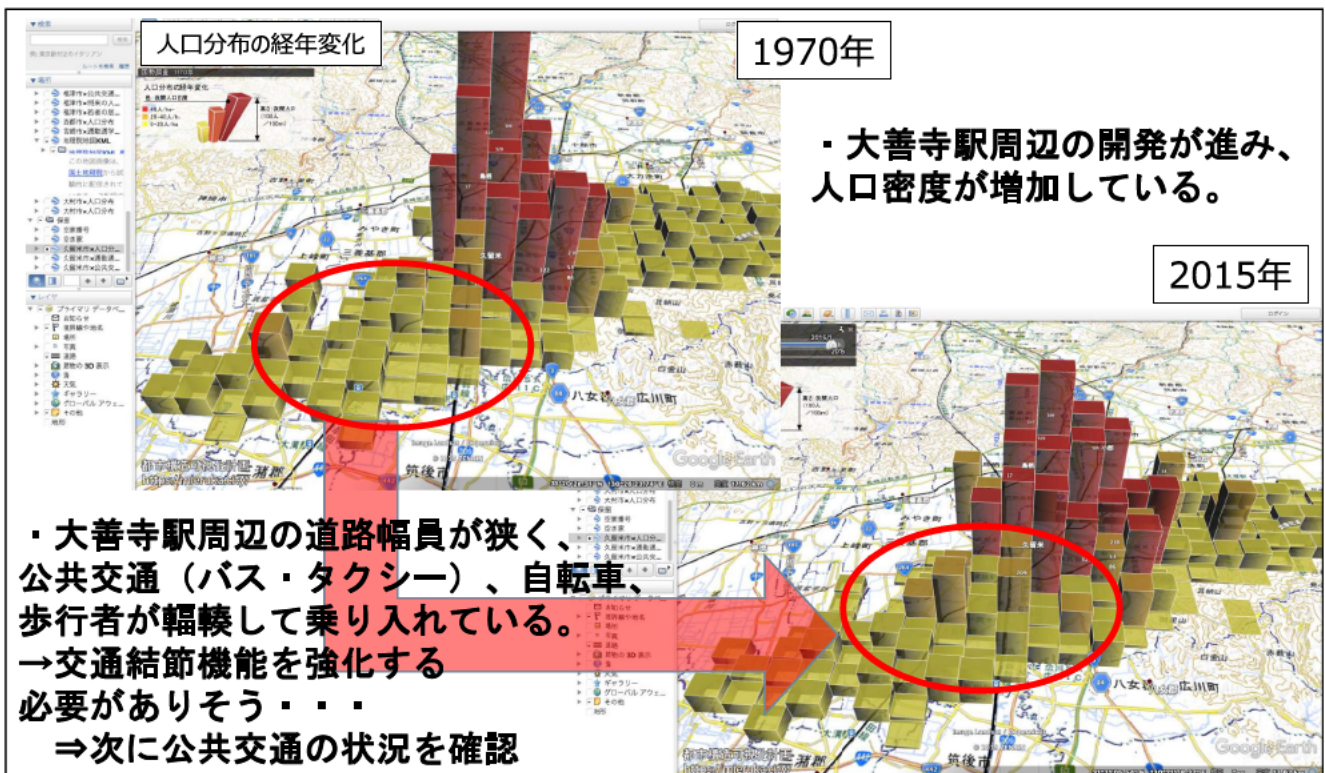
地整ヒアリングの中では、都市再生整備計画に記載のあるまちづくりの目標、計画期間、目標を定量化する指標、計画区域の整備方針等について聞き取りを行い、計画区域や指標の妥当性を確認することとしており、その計画区域の妥当性を検証する上で、都市構造可視化サイトを活用した。

i-都市交流会議2020

4

2.活用事例～久留米市大善寺駅周辺地区～

大善寺駅周辺部の人口分布の経年変化を可視化



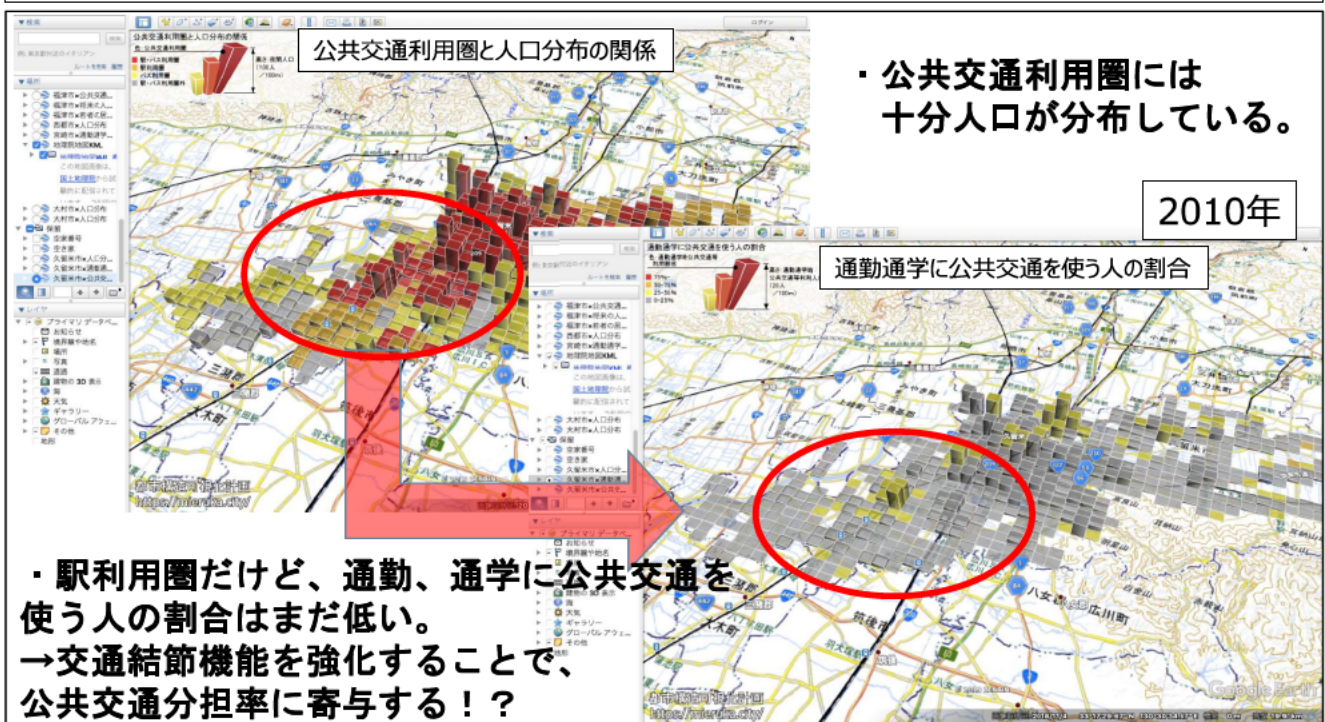
i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

5

2.活用事例～久留米市大善寺駅周辺地区～

公共交通利用圏と人口分布の関係と 通勤通学に公共交通を使う人の割合を可視化



i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

6

3.その他活用報告

●日常的な都市再生整備計画変更協議時に活用

九州管内において、R1年度都市再生整備計画事業を実施している地区は75地区存在する。

この各地区について、現地視察やヒアリングを実施することは現実的に困難である。

このような状況下で、計画変更協議があった地区については、都市構造可視化サイトを活用しながら、当該都市の概況や都市構造を把握する一助として活用できた。

●まちづくり研修のフィールドワークの補完

九州地整独自の取り組みとして、対象地（R1:佐賀県基山町）を決めて、その地域の目指すべきまちづくりについて、検討・討議・施策発表を行う『まちづくり研修』を実施している。

限られた現地調査期間であるため、当該都市の概況を補完するため、都市構造可視化サイトを活用した。

i-都市交流会議2020

7

九州地方整備局

都市の紹介

国土交通省 九州地方整備局
建政部 都市整備課

i-都市交流会議2020

8